

まずは、財源を確保すべき 予算あつての公約実現だ



池沢 のりこ 議員

第2子以降の保育料・幼稚園授業料の無料化について、補正予算（103万7500円、4か月分）は、平成28年度決算からの繰越分（余剰金）の中からとの答弁だ。

平成30年度当初予算からは、毎年試算で310万2500円必要となるとのこと。町長は、「その財源として基金（町の貯金）を充てない。町の継続事業は行う。町単独事業や普通建設事業は減らさない」と答弁した。

町全体の事業を見直し、スクラップしない限りビルド（公約実現）は、不可能ではないか。

池田町長

無料化の財源については、今は一般財源を使用することを考えている。予算計上額の精査に努め、事業の必要性や執行の効率性などの観点からの見直しや事業量の平準化を図り、平成30年度以降の一般財源を確保する。

機構改革しないのか

池沢議員

住民サービスをを行うための町行政の機構改革は、社会情勢による行政需要、町政課題への対応、将来の町民福祉を目指した取り組みなど広範多岐な視点で行政分析を行い、検討すべきだ。財政運営上、非常に重要な取り組みだ。今回の機構改革で何を主眼としたのか。一番多くの時間をかけている課題は、何か。今後、どのようにしていくのか。

ほけん福祉課と教育委員会の連携をとった仮称こども課の設置については、どのように検討しているのか。

池田町長

平成30年度を目標として実施するよう庁内で協議している。平成29年7月に基本方針を定め、8月1日の庁議で所属長に伝え、8月30日に総務課がヒアリングを終えたところだ。

こども課の設置については、ヒアリングでも設置要望があるが、様々な提案を各課から受けている。

今後、関係各課で協議をしたり、全庁的な調整をした上で、議会へ示したい。

池田町長の政治姿勢

池沢議員

町執行部参加の庁議は、町長からの報告だけになってないか。公約実現に向けての財源確保の方法・手順、公約実現の時期などについてざっくりばらんに話し合いができているのか。

私が町長選挙で勝ちまし

た。その私の公約だから何があってもやるという態度（答弁）では、町政を支える職員や2万3000人の町民も納得しないのではないか。

池田町長

有権者は、候補者の掲げる公約を判断材料の一つとして選挙で一票を投じている。任期中における公約実現に向けて努力していく。

町政懇談会の あるべき姿は

池沢議員

町政懇談会について「○地区の未来を考える会」と名称を変えたが、池田牧子後援会ミニ集会となっていないか。町全体の年間計画を先に立て実行すべきでないか。また、参加職員の範囲を拡大すべきでないか。

町職員を3地区（本川・吾北・伊野）に分散参加させ孤立化させるのでなく、情報共有できるようにしないか。町長は、言っていることとしていたことが、まだまだ、ちぐはぐしているところがあるのでないか。

開かれた行政を目指すべきでないか。

池田町長

町政懇談会について、5月区長連合会で実施、町主催で「本川地区の未来を考える会」として8月に越裏門で開催。

今後、地区からの要請で9月中に横敷で開催。10月に中追地区、波川地区。「本川地区の未来を考える会」を脇ノ山、桑瀬、長沢で9～10月開催予定。10～11月に、「吾北地区の未来を考える会」として、清水、上八川、小川、下八川で開催を計画。伊野地区でも計画していきたい。

「未来を考える会」開催予定などは、議会にも案内するが、地区主催の懇談会については、地区とも相談して案内する。平成30年度は、全体計画を立てていきたい。

その他の質問

- ①長期健全財政運営をただす
- ②損害賠償請求について